

【1】年度計画に定められた項目に係る評価<小項目評価及び大項目評価>

項目	法人 評価	市長 評価	浅井 委員長	川合 副委員長	朝野 委員	高田 委員	岸野 委員	島 委員	委員 評価 平均点	コメント(敬称略)	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		A							3.5		
1 地域に密着した急性期病院として良質で安全な医療の提供	(1) 診療機能の整備	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】DPC機能評価係数Ⅱで、県内15病院の中で最下位から2位になったことは、評価できる。 【岸野】コロナを経て診療機能が低下した病院も少なくない中、コロナ禍への対処のみならず、諸方面の診療機能を高めた素晴らしい努力について、高く評価したい。</p> <p>【市長】令和2年度に県内4位であった急性期診療機能の指標となるDPC機能評価係数Ⅱにおいて、令和5年度は2位/15病院にランクされたことを評価します。</p>	
	(2) 救急医療の取組み	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】第3段落ですが、大学病院とは求められる救急体制の内容が異なるため、大学病院との比較を記載するのは不適切です。 【高田】各機関との連携を推進しながら、持続可能な救急医療の提供に努めていただきたい。 【岸野】引き続きの救急応需件数の増加とともに、救急車の不適正利用者への対応など、医師の働き方改革の影響を踏まえた対応準備も開始されている。</p> <p>【市長】救急委員会での不応需事例の検証や、統計の分析、更に各機関からの問題提起とそれに対する協議を重ねることで、救急応需可能体制の維持に努められており、小山市及び近隣市町の救急医療体制維持に貢献したと評価します。</p>	
	(3) 4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)への対応	4	4	4	3	4	4	4	4	3.8	<p>【川合】「がん専門治療」は記載からは維持または低下、他の領域も「年度計画を順調に実施している」が適切だと思います。 【高田】脳卒中入院患者数が県内随一であることや、患者の就労両立支援を行なっていることが評価できる。 【岸野】4疾病すべてについての各診療件数の増加や、指導件数の増加・充実が進められている。</p> <p>【市長】脳卒中の診療件数が県内随一であり、脳卒中患者の生活の質向上の観点から就労両立支援を推進していること、また急性心疾患についても24時間365日の医療提供体制を維持していることを評価します。</p>
	(4) 小児医療の充実	4	4	5	3	4	4	4	4	4.0	<p>【浅井】担当している職員数から考えて、十分な対応ができています。 【川合】救急体制の実績は素晴らしいですが、それ以外の小児医療体制(特にレスパイト等)について応需体制の充実が望まれます。 【高田】小児救急医療について24時間365日救急受入体制を維持し、前年度より大幅に受入件数を増加させた。 【岸野】小児救急の24時間365日実施とともに、小児領域で求められている診療外の地域社会の課題にも取り組まれ、高い公的役割を担われている。</p> <p>【市長】24時間365日体制で2000名を超える小児救急患者を受入れるとともに、診療外の地域社会の課題にも取り組まれ、高い公的役割を担っていただいていることを評価します。</p>
	(5) 周産期医療の対策	2	2	2	3	2	2	3	2	2.3	<p>【川合】記載内容に異論ありませんが、計画通りと判断します。 【高田】産後ケア事業が休止状態なので、6年度には再開してほしい。 【岸野】2次救急病院として、産科医がいない体制下においてできる限りの婦人科、産後ケア(再開準備)、小児医療体制の整備を進め、維持している点を年度計画の順調な実施と捉えて「3」としたい。 【島】根本的な問題として産科医の不足があることから、難しい問題だが、ぜひ今後ともご尽力をお願いしたい。</p> <p>【市長】社会的な産科医師不足の中、自治医科大学との連携により婦人科外来開設日が増加したことを評価します。「産後ケア事業」については、今年度の再開を期待します。</p>
	(6) 災害時における医療協力	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】能登地震に12名を派遣している。 【岸野】DMATの確保、運用は救急病院だからと言ってどこでもできることではなく、そのチームを有し、実際の能登地域への派遣を実施されたことは、極めて高く評価したい。</p> <p>【市長】3年連続、BCPに即した防災訓練を実施し、災害拠点病院として対応力向上に努めていることや、DMAT隊員を増員する他、1月の能登地震において、いち早くDMAT隊を被災地に派遣し被災地での災害医療に貢献したことを高く評価します。</p>
	(7) 感染症医療の対策	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】一般診療とコロナ診療を両立し、95%以上の病床稼働率を維持している。 【岸野】感染症対策と病床稼働の両立を果たされている(少し前まで、補助金で潤ったものの、ベッドが埋められなくなった急性期病院が多かったと聞く) 【島】コロナの5類の移行もあってか、院内でもマスクを着用していない患者も散見される。コロナは未だ流行しているため、免疫力の低い高齢者や基礎疾患を有する方への感染を防止するためにも、マスクの着用を引き続き徹底していただきたい。</p> <p>【市長】新型コロナウイルスが5類へ移行した後も、感染症対策と病床稼働の両立を果たされ、地域中核病院の診療機能を維持されていること、また保健所や地域医師会と連携し、地域全体での感染対策を牽引したことを評価します。</p>

項目		法人 評価	市長 評価	浅井 委員長	川合 副委員長	朝野 委員	高田 委員	岸野 委員	島 委員	委員 評価 平均点	コメント(敬称略)
1 地域に密着した急性期病院として良質で安全な医療	(8) 予防医療の充実	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】医師の結果説明・保健指導・フォローアップの各体制について高い評価を受けた。</p> <p>【岸野】独法化しばらくは、救急医療機関でどこまで予防医療ができるか、動線的に対応可能か見守っていたが、ドックその他予防医療が病院実務として完全に定着されている。</p> <p>【市長】人間ドック健診施設機能評価認定の更新により、医師の結果説明・保健指導・フォローアップの各体制についてA評価を受けたこと、受診者対象のアンケートにおいても受診者満足度が91%であったことを評価します。今後パーソナルヘルスレコードが本格導入され、利便性が向上されることを期待します。</p>
	(9) 医療安全対策の充実・強化	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】訴訟に至る医療過誤の発生がなかった。</p> <p>【岸野】訴訟に至る医療過誤が無いこと、医療安全管理者研修の修了者の輩出など、医療安全の充実を図られている。</p> <p>【市長】医療安全管理者研修の修了者の輩出など、職員の医療安全への関心を高め、事故を未然に防止するための対策が周知されていること、訴訟に至る医療過誤が無いことを評価します。</p>
	(10) 地域の保健・福祉関係機関との連携の継続	3	3	4	3	3	3	4	3	3.3	<p>【浅井】地域の医療機関等との連携はうまくいっている。</p> <p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】公的医療機関としての役割を果たしている。</p> <p>【岸野】介護系の推進会議、支援会議等への参加、看取り後の対応のためのNPO等との連携など、年度計画で想定されている二次救急病院の役割を超えた、目覚ましい連携の進展が感じられる。</p> <p>【市長】地域の医療機関等との連携に加え、介護系の推進会議、支援会議等への参加、看取り後の対応のためのNPO等との連携にも取り組んでいただいていることを評価します。</p>
2 医療提供体制の充実	(1) 医療人材の確保と育成	4	4	4	3	4	4	4	4	3.8	<p>【川合】計画を上回る内容が読み取れません。研修医応募人数はどうだったのでしょうか。</p> <p>【朝野】各専門職についての人材確保と育成に取り組んでいる成果を確認できました。</p> <p>【高田】医師や看護師の数が増えている。</p> <p>【岸野】医師数、看護師数が順調に増員されている。今後、働き方改革の中でどのように医師確保を進めるか、また全国的な看護師数が一定数に達したと言われる中で、看護の質と数をどのように捉えていくか、様々な課題がありそうである。</p> <p>【市長】医師数、看護師数の増員及び各専門職について人材確保と育成に取り組んでいることを評価します。</p>
	(2) 事務職員の確保と育成	3	3	3	3	3	3	4	3	3.2	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【朝野】事務職員の方の確保と育成に取り組まれていることがすばらしいと思います。</p> <p>【高田】年3回の面談を行ない、資質の向上に取り組んでいる。</p> <p>【岸野】あまり脚光を浴びない事務職員不足という分野に、いち早く対応されて採用の結果を出されている。安定した職場を欲する求職ニーズに対して、純粋な公務員とも違う独法という魅力的な職場を、PRしていただきたい。</p> <p>【市長】病院を支え、成長をも左右する事務職員の確保と育成に取り組み、面談等により資質向上にも取り組んでいることを評価します。</p>
	(3) 信頼性の確保	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】内部統制・監査室を発足させた。</p> <p>【岸野】様々な試みや受審の継続に加えて、内部統制システムに着手されたことは、組織の成長、成熟を象徴されていると感じる。</p> <p>【市長】信頼性確保のため、「病院機能評価」の受審と「クリニカルインディケーター事業」への参加による医療の質の改善を目指していること、内部統制に関する規程を制定し、内部統制・監査室を発足し、信頼性の確保に努めていることを評価します。</p>
3 患者・住民の満足度の向上	(1) 患者中心の医療	4	4	4	3	4	4	4	4	3.8	<p>【川合】計画を上回る内容が読み取れません。ACPへの取組はいかがでしょうか。</p> <p>【高田】緊急入院の患者に対しても、早期の段階で多職種で関り、情報共有と支援の充実に努めている。</p> <p>【岸野】相談段階からの患者、家族への対応など、患者ニーズに速やかに対応されている。</p> <p>【市長】緊急入院の患者に対し、早期に多職種による情報連携・支援の充実に努める等、患者ニーズに速やかに対応していることを評価します。</p>
	(2) 快適な医療環境の充実	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】マイナ保険証の利用率が3%と伸び悩んでいる。</p> <p>【岸野】DX化の進展で、やや混迷している国の諸施策に対して、しなやかに対応されている。</p> <p>【市長】後払いシステムの導入検討や、マイナ保険証の利用促進など、患者がより良い医療が受けられるよう、対応いただいたことを評価します。</p>
	(3) 患者・来院者及び地域住民の満足度の向上	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】外来満足度調査にWebを利用している。</p> <p>【岸野】満足度調査の定着と、待ち時間の問題など課題抽出されている点は評価したい。</p> <p>【市長】外来満足度調査にWebを利用し、調査結果から待ち時間の問題など課題抽出及び改善策の検討を行っていることを評価します。</p>

項目		法人 評価	市長 評価	浅井 委員長	川合 副委員長	朝野 委員	高田 委員	岸野 委員	島 委員	委員 評価 平均点	コメント(敬称略)
3	患者・住民の満足度の向上	(4)職員の接遇向上	3	3	3	3	4	3	3	3.2	【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】外来満足度調査で、とても良いと良いが92.9%であった。 【岸野】職員挨拶への高評価が92%に及んでいる。 (患者さんは満足度調査で、良い点も課題も、よく書いてくださっているようですね)
											【市長】全職員を対象としてWEB研修を実施し、「あいさつ声掛け週間」の開始により、外来満足度調査にて挨拶の項目が「とても良い」「良い」を合わせると92.9%を達成していることを評価します。
											【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】ボランティア登録者数を維持している。 【岸野】継続的にボランティア登録者を維持、活用されている。
4	地域医療支援病院としての機能強化	(1)地域医療機関との連携推進	4	5	5	5	4	5	4	4.7	【川合】確実な取組によって、素晴らしい実績を出されています。 【高田】紹介率、逆紹介率ともに伸びている。 【岸野】全国的にこの紹介率、逆紹介率を維持している病院は少数であるようで、地域中核の医療機関としての認知度の高さを示している。
											【市長】小山市近郊地域医療連携協議会の開催により、地域医療機関と強い連携体制を構築されたことにより、紹介率、逆紹介率共に年々増加し、地域医療支援病院として地域に信頼される医療機関としての役割を果たしていることを評価します。
											【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】入院中からケアマネージャーなどと連携し退院後のケアプランやサービス等利用計画に繋げている。 【岸野】自治体病院が得意でない、と言われてきた介護、在宅の民間機関との連携が順調に進められている。
5	法令等の遵守と個人情報保護の推進	(2)地域包括ケアシステムの推進	3	3	3	3	3	3	3	3.0	【市長】介護・在宅等の地域の関係機関と連携を密にし、入院中から退院後のケアプランやサービス等利用計画に繋げ、安心して退院できる支援を行っていることを評価します。
											【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】「病院ふれあい祭り」は過去にない盛況となった。 【岸野】本業の医療行為のみならず、お祭りや出前講座など、地域への還元が行われている。 【島】講座の1つである「おやま地域医療健康大学」に参加したが、まさに「患者力」を高めることのできる良い内容であった。他にも積極的な啓発活動を行っていることも鑑み、1段階上の「4」としたい。
											【市長】市の事業実施に職員を多数派遣いただく他、病院の医療現場の見学へもご協力いただきました。病院ふれあい祭りや出前講座についても好評とのことであり、公的医療機関として引き続き地域住民への啓発活動にご協力いただきたい。
5	法令等の遵守と個人情報保護の推進	(1)法令等の遵守	4	4	4	4	4	4	4	4.0	【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】内部統制・監査室を新たに設置した。 【岸野】法令遵守が単なる適正運営だけでなく、職員を守ることに繋がる、時代の流れに即応して仕組みを作られている。 【島】昨今業界は異なるが、内部通報関連の報道が世間を騒がせている。公益通報者保護法の仕組み自体にも問題があるのが実情のため病院側での独自の対策にも期待したい。
											【市長】内部統制・監査室を設置し、全職員に向け研修会を実施していること、各種既定の見直しを行い、法令遵守の意識を高めていることを評価します。
5	法令等の遵守と個人情報保護の推進	(2)個人情報の保護と開示	4	4	4	4	4	4	4	4.0	【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】DDIを導入したほか、電子メール配信において添付ファイルの開封パスワードを付与する仕組みを導入した。 【岸野】昨今の情報管理に見合った情報漏洩対策、セキュリティ対策を進められている。
											【市長】個人情報保護管理委員会を設置し、法律が求める安全管理措置の担保に関する要領・要項などの修正を行っていること、DDIを導入したこと、個人情報漏えいについては、国への報告と、検証・抑制策を吟味し保護に努めていることとあわせて、防御システムの導入などを行っていることを評価します。

項目	法人 評価	市長 評価	浅井 委員長	川合 副委員長	朝野 委員	高田 委員	岸野 委員	島 委員	委員 評価 平均点	コメント(敬称略)
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項		A							3.5	
1 組織マネジメントの強化	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】BSCによる行動目標作成と実績管理が確実に定着している。 【岸野】コロナ禍時代からの回復に合わせて、年度計画通りにBSC、組織マネジメントの議論を開始されている。</p> <p>【市長】計画通りにBSCによる行動目標作成と実績管理が確実に定着していること、組織マネジメントの議論を開始していることを評価します。</p>
2 働きやすい病院づくり										
(1)人事に関する制度の充実	3	4	4	4	3	3	4	3	3.5	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】評価者の資質の向上と評価基準の統一化を図っている。 【岸野】データの活用による部門別労働生産性の把握などは、なかなかできていない病院はなく、また人事評価の賞与反映なども、簡単なことではない。こうした試み一つ一つを、年度計画に表現されている以上のものと捉えて、高く評価したい。</p> <p>【市長】各部門の労働生産性を把握し、適正な職員数や業務改善への取組を検証・実施していること、また人事評価の賞与反映など評価制度を活用し適正な運用を目指していることを評価します。</p>
(2)働き方改革への対応	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】時間外労働上限規制のA水準をクリアし、離職率の低下や採用につながった。 【岸野】複雑な法律、制度改正に対して、離職率低下や新規採用などでしなやかに対応されている。</p> <p>【市長】勤務状況を可視化し、適切な業務量の振り分けや、他職種へのタスク・シフティングを進めた結果、離職率も低下し職員増となった結果を評価します。</p>
(3)職員の就労環境の整備	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】男性職員6名が育児休業を取得した。 【岸野】ストレスチェックの実施やイクメン養成など、就労環境を整備されている。</p> <p>【市長】ストレスチェックの実施等により、職員の心身の健康増進を行っていること、男性の家事育児参画への理解が広がり、男性職員6名の育児休業取得につながったことを評価します。</p>
第3 財務内容の改善に関する事項		A							3.5	
1 経営基盤の維持と経営機能の安定化	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】11期連続の黒字決算となった。 【岸野】コロナ前後の財務状況に波が多い中で、黒字を堅持し、諸領域でのパフォーマンスを高めている。</p> <p>【市長】入院・外来ともに増収となり、医業収益全体で前年を上回る収益になり、11期連続の黒字決算となったことを評価します。</p>
2 収益の確保と費用の節減										
(1)収益の確保	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】入院・外来ともに増収となった。 【岸野】入院、外来ともに患者数は横ばい(微減)である一方、単価増による収入増加しており、量的にキャパシティ一杯に施設を利用しつつ、質の向上を実現している。</p> <p>【市長】病床稼働率の強化と診療単価向上という基本方針に対し、全職員が取り組んだ結果、入院・外来ともに患者単価の伸長により、営業収益・医業収益が増加できたことを評価します。</p>
(2)費用の節減	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】消耗品費の節減等により、経費等が減少した。 【岸野】薬品費、診療材料費を中心にコスト増となっている。施設のキャパシティいっぱいまで使っている現状では、今後しばらく「将来的な固定費の把握、管理」が極めて重要になる。</p> <p>【市長】物価上昇傾向の継続により、診療材料費の上昇による影響が大きかった中で、経費・給与費における医業収益比率は減少しており、費用節減に取り組んで頂いていることを評価します。</p>
3 高度医療機器の計画的な更新・整備	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。 【高田】医療機器の計画的な入替を適切なプロセスで実施している。 【岸野】十分な内部留保が蓄えられてきたが、外部・本庁からの協力を含めて、多様な資金調達ソースによって計画的、かつ負担が少ない設備投資を進めていただきたい。</p> <p>【市長】院内の医療機器更新計画に基づき、地域医療確保のために効果的に高度医療機器を計画的に適切なプロセスで更新いただいていることを評価します。</p>

項目	法人 評価	市長 評価	浅井 委員長	川合 副委員長	朝野 委員	高田 委員	岸野 委員	島 委員	委員 評価 平均点	コメント(敬称略)
第4 その他業務運営に関する事項		B							3.0	
1 小山市地域医療推進基本計画に対する取組み	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【高田】小山地区医師会、行政との連携が図られている。</p> <p>【岸野】地域医療推進基本経過計画の各種施策の達成に向けて最大限の努力をされている。</p> <p>【市長】小山市地域医療推進基本計画にある、市主催事業へのご協力や、計画中にある施策を着実に履行し、医療体制の充実、医療従事者の資質向上、市民の健康意識醸成などに関する取り組みにご尽力いただき感謝いたします。</p>
第5 予算、収支計画及び資金計画										<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【岸野】材料費を除いては、当初計画通り、または当初計画を上回る実績を出されている。予算目標の立て方も適切であったと思われる。</p> <p>予算に関しては、今後は一層「着実に達成可能な予算」の設定を希望させていただきたい。</p>
第6 短期借入金の限度額 第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画 第8 剰余金の使途 第9 料金に関する事項 第10 地方独立行政法人新小山市市民病院の業務運営等に関する規則に定める事項										<p>【川合】記載内容に異論ありません。</p> <p>【岸野】適正に作成され、記されている。</p> <p>一部の自治体病院では、剰余金について現金預金以外の、安全確実な方法で債券購入等に充てている団体もある。今後は金利上昇期に入る可能性が高く、その点も検討される時期かもしれない。</p> <p>【市長】適正に処理されています。資金運用のために栃木県債を購入するなど、経営基盤強化に努めていることを評価します。</p>

【2】財務諸表に係る意見

【川合】記載内容に異論ありません。

【岸野】財務諸表全体が地方独法の会計基準の則り、かつ見やすく適正に作成されていると思われる。

また財務内容も健全性、収益性ともに十分であり、次の10年を見据えて議論していくにふさわしい財務基盤が整われたものとする。

【市長】適正に処理されています。

【3】全体評価

【川合】理事長が冒頭メッセージで述べられているように、急性期医療への特化と連携強化について、確実な取組を行われ、実績を挙げられています。引き続き、地域の中核病院としての機能を果たすべく、ご尽力いただけますようお願いいたします。

【朝野】コロナ禍後にも、市民病院としての役割を果たそうと職員の皆さまが努力していた状況が理解できました。

【高田】コロナ補助金収入が大幅に減少する中、11期連続の黒字経営を確保したことは、評価できる。

【岸野】医療の数、質、そして医療確保のための職員の状況、地域連携など、全体を見渡して地域医療の核となる病院になっている。

これから物価上昇、金利上昇等がさらに進展していく一方で、医療費はなかなか伸びない、厳しい医療環境が予想される。

その中で、今後、300床のキャパシティを少しずつ拡大、変更する設備投資が進んでいくものと思われるが、これを「無理なく」利活用して、さらなる病院、地域医療の発展が望まれる。

【市長】急性期医療への特化と連携強化について、実績を挙げられているだけでなく、令和6年1月の能登半島地震においては新小山市市民病院からDMAT隊を派遣し活躍されたこと、地域の医療関係者のアンケートにおいても、県内で”地域を支えている病院”に選出される病院となったことは設置者として誇りに思います。